

令和7年度

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(令和6年度対象)



酒々井町教育委員会

1 はじめに

この報告書は、

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第26条）の規定に基づき、令和6年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行い、作成・公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

酒々井町教育委員会教育長及び教育委員名簿（令和7年4月1日現在）

職 名	氏 名
教 育 長	林 洋 子
教育長職務代理者	村 重 浩 二
委 員	大 塚 益 子
委 員	河 端 孝 順
委 員	大 宮 綾 子

2 教育委員会会議等の開催状況

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて「臨時会」を開催します。令和6年度は定例会を12回開催しました。

また、教育委員会の所管事項について調査・研究する意見交換会等を令和6年度は19回開催しました。（定例教育委員会会議に関する意見交換、教科用図書に関する意見交換など。）

3 教育委員会会議での審議状況

酒々井町教育委員会行政組織規則第5条の規定に基づき、令和6年度は合計で22件について審議しました。

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針・・・・・・・・・・2件
- (2) 教育委員会規則及び訓令を制定及び改廃・・・・・・・・3件
- (3) 予算その他議会の議決を要する事件についての意見申出・・・5件
- (4) 教育に関する事務の点検・評価に関すること・・・・・・・・1件
- (5) 附属機関の委員の委嘱・・・・・・・・・・7件
- (6) 教科書その他の教材の取り扱い方針に関すること・・・・・・・・1件
- (7) 教育委員会の各表彰規程に基づく表彰・・・・・・・・1件
- (8) その他重要又は異例に属する事項・・・・・・・・2件

規則に基づく審議案件の他、報告事項、協議事項についても取り扱いました。

報告事項（35件）の概要

- (1) 教育委員会の各種行事等の報告・・・・・・・・12件
- (2) 町予算の議決に関する報告・・・・・・・・3件
- (3) その他・・・・・・・・20件

協議事項（1件）の概要

- (1) 選出依頼のあった各種協議会等の委員の選考・・・・・・・・1件

月別の主な審議議案等の概要

実施月	審議議案	報告事項	協議事項	主な審議案件等
4月定例会	1	3	1	・公民館定期休館日の特例に関する規則の一部改正
5月定例会	3	7		・附属機関等委員の委嘱 ・酒々井町体育館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定 ・富里市と酒々井町の学校給食事務の委託に関する協議について
6月定例会	1	5		・附属機関等委員の委嘱
7月定例会	1	3		・教科用図書採択
8月定例会	1	1		・9月補正予算（案）
9月定例会	3	2		・附属機関等委員の委嘱 ・酒々井町立公民館管理規則に基づく休館日の開館
10月定例会		3		
11月定例会	2	2		・教育委員会の点検・評価報告書（案） ・12月補正予算（案）
12月定例会	1	2		・教育委員会被表彰者の選考
1月定例会	1	1		・プリミエール酒々井管理運営規則の一部を改正する規則の制定
2月定例会	2	3		・3月補正予算（案） ・新年度当初予算（案）
3月定例会	6	3		・教育施策の策定 ・附属機関等委員の委嘱 ・第3次酒々井町子ども読書活動推進計画の策定
合計	22	35	1	

4 事務事業の点検・評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、令和6年度教育委員会の基本理念、分野毎の重点的な取り組み、主な施策に基づく、各課、教育機関における主要事業を中心に、33事業について点検・評価を行いました。

5 点検・評価の方法

点検・評価の実施にあたり、教育委員会事務局で作成した「教育施策評価表」により実施しました。評価は、主要事業の取り組み状況（達成度）について、実績・成果・課題を記述し、AからEの5段階で評価するとともに、今後の方向性を、拡大、現状維持、改善、統合、期限付、休止、廃止の7段階に評価する方法で行いました。

なお、法の規定に基づき、学識経験者3名にご意見をいただきました。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している
- B おおむね順調に達成している
- C 達成見込みであるが課題がある
- D 達成できなかった
- E その他

(2) 方針の分類（今後の方向性）

- 拡大・・・事業を拡大充実する
- 現状維持・・・現状を維持継続していく
- 改善・・・対応すべき改善対策を付して事業を継続する
- 統合・・・独立した事業とせずに他の事業へ含める
- 期限付・・・終期を設定して、そのまま事業を継続する
- 休止・・・事業を休止する（復活の可能性あり）
- 廃止・・・事業をやめる

6 点検・評価の結果

事務事業評価表により点検・評価を実施した33事業の結果は、次のとおりです。また、詳細については、「令和6年度教育施策評価表」を添付しております。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している・・・23事業
- B おおむね順調に達成している・・・6事業
- C 達成見込みであるが課題がある・・・2事業

D 達成できなかった・・・・・・・・・・ 2事業

(2) 方針の分類 (今後の方向性)

現状維持・・・29事業

改善・・・・・・・・3事業

休止・・・・・・・・1事業

7 まとめ

当町教育委員会では、課題の取り組みや方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たし、信頼される教育委員会を目指すひとつの方策として点検・評価を実施しております。

令和6年度酒々井町教育施策として策定した「酒々井の教育」では、基本理念を「しなやかに・・・すこやかに・・・いきいきと・・・」として、分野毎の重点的な取り組みや主な施策などを体系的にとりまとめており、これに基づく各課、教育機関における主要事業を対象として、点検・評価を行いました。

今回評価を行った主要事業のほぼすべては、それぞれの事業目的に従い、計画的に実施されており、概ね適正かつ順調に事業執行されたものと判断しております。しかしながら、事業の実施方法など工夫や改善が必要な事業もわずかながらあることから、次年度の事業計画を組み立て、予算の編成を行っていくなかで、さらに検討を深め、多様化する教育ニーズに対応していくことが重要であると認識をしております。

なお、今回の点検・評価の結果については、町ホームページにより公表を行い、町民の皆様からのご意見等いただくことで、今後の事務事業の執行に反映をさせていきたいと考えています。

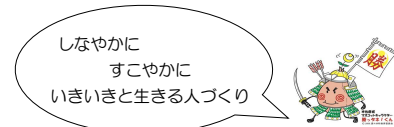
※ 評価委員会委員

職 名	氏 名
委 員 長	久 本 邦 夫
委 員	長谷川 睦
委 員	柳 橋 幸 雄

◇令和6年度事業に係る評価委員会の開催状況

令和7年8月4日(月)

令和6年度 教育 施策 体系 図



人 自然 歴史 文化が調和した活力あふれるまち 酒々井(将来都市像)

人権と学びが尊重され、豊かな心と歴史・文化が香るまちづくり 教育文化(基本目標)

しなやかに すこやかに いきいきと生きる人づくり(基本理念)

分野	重点的な取組	主な施策	主な事業
1 学校教育	(1) 教育環境の整備	○学校施設、設備の整備と改修 ○通学路の安全確保 ○給食センター施設、設備の整備と改修	○酒々井小学校用地公有地化○酒々井中学校グラウンド整備○学校施設の維持管理 ○1人1台PC及び統合型校務支援システムの活用○スクールバス運行○通学路安全点検の実施 ○給食センターの今後のあり方に関する検討
	(2) 確かな学力の向上	○特別支援教育の充実○きめ細かな指導体制の推進	○就学支援委員会の開催 ○学習指導等専門支援員、学習活動支援員、介助員の配置
	(3) 豊かな心の育成	○いじめ防止対策の推進 ○適応指導の推進 ○学校図書館の充実と読書活動の推進	○いじめに関する実態調査及びネットパトロールの実施 ○ケース会議の開催○学校適応専門相談員の配置 ○学校司書の配置と読書活動の推進
	(4) 教職員の資質能力の向上	○教職員の教育研究活動への支援 ○適切な評価の活用○教職員研修への支援	○大学等との相互協力○教育活動への支援○自己評価、学校関係者評価の実施 ○職種経験年数及び教科領域に関する研修会の開催
	(5) 特色ある教育活動の推進	○国際理解教育の推進○保小中連携の推進 ○人権・同和教育の推進○郷土を愛する心の涵養 ○環境教育の充実○学校行事の充実	○ALT及び小学校英語専科教員の配置○英語検定の受検料助成(パワーアップE) ○保小中連携推進事業の実施(あいさつ運動等の推進)○人権・同和教育事業の実施 ○「酒々井学(ふるさと学習)」の推進 ○豊かな心を育むCTSプランへの助成○修学旅行への助成
	(6) 幼児教育の充実	○幼児教育に係る支援	○保育園児への英語活動、体育活動及び情操教育 ○幼児教育・保育無償化、私立幼稚園運営費及び教材費補助事業
	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	○体力、運動能力の向上 ○競技力の向上 ○安全・安心な学校給食の提供○食育推進○食物アレルギー対応	○酒々井町小学校運動能力証の交付○部活動指導員の配置○大会参加経費の助成○部活動の地域移行(試行)○食育指導○食物アレルギー対応○安全・安心な食材の購入○地元産食材の使用
2 社会教育	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	○ライフステージに応じた生涯学習プログラムの充実 ○学習サークル活動への支援 ○人権に関する関心の高揚 ○公民館等主催講座の充実と学習成果の活用 ○子ども読書活動の推進	○成人式の開催○学習サークルへの支援 ○町民文化祭の開催○人権教育セミナーの開催 ○町民大学青樹堂、町民大学院青樹堂及び一般講座等の開催○こども青樹堂(3・4年生及び5・6年生)の開催○コスモス会日本語教室○社会教育指導員の配置○図書館講演会やおはなし会等の開催
	(2) 生涯学習の推進体制の整備	○学校教育への支援、協働 ○社会教育委員との連携	○地域学校協働本部の運営○地域未来塾の開催(中学生) ○社会教育委員会会議の開催○こども青樹堂(3・4年生及び5・6年生)の開催
	(3) 多様な図書館サービスの利用促進	○図書館の円滑な運営と利用促進	○図書館資料の拡充及び図書館サービスの充実
	(4) 学習関連施設の整備	○施設、機器の維持管理	○中央公民館の管理運営○プリミール酒々井の管理運営
3 生涯体育・スポーツ	(1) 生涯体育・スポーツに参加できる環境の整備	○体育施設の維持管理 ○学校体育施設の活用促進 ○指導者の確保、養成 ○参加する機会の充実と情報提供	○体育施設の維持管理○学校体育施設の開放○指導者講習会への参加促進○スポーツ推進委員連絡協議会への助成○ライトスポーツクラブの開催○健康体育アドバイザーの配置○ライトスポーツクラブ通信の定期発行○各種スポーツ教室、大会等の情報提供
	(2) スポーツ活動への支援	○スポーツ関係団体、選手への支援 ○スポーツ大会の開催	○体育協会への助成○優秀な選手への助成 ○各種スポーツ教室、大会等の開催○印旛郡市民スポーツ大会の参加
4 青少年の育成	(1) 家庭の教育力の向上	○保護者等への支援 ○広報活動の充実 ○基本的な生活習慣習得への支援	○家庭教育学級の開催○家庭教育支援チームの運営○家庭教育指導員の配置 ○家庭教育に関する広報啓発活動 ○早寝早起き朝ごはん運動の推進
	(2) 地域の教育力の向上	○子どもの社会参加の促進 ○学校教育への支援、協働	○子ども会活動○青少年相談員による各種イベントの開催 ○北海道陸別町との児童交流 ○地域学校協働本部の運営○学校運営協議会導入の検討
5 歴史・文化	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承	○文化財の保護と活用 ○郷土芸能の保存、伝承の支援	○本佐倉城跡の保存整備 ○文化財管理及び歴史的文書の保存利活用 ○墨古沢遺跡の保存整備 ○郷土研究会への助成○ボランティアガイドの育成・活用○獅子舞への助成・支援
	(2) 文化芸術活動の振興	○文化団体への支援 ○情報提供の充実 ○参加者の拡大 ○文化芸術活動への支援と利用促進	○文化協会への助成○町民文化祭の開催及び実行委員会への支援 ○音楽会の開催
6 国際交流・国際理解	(1) 国際人の育成推進	○英語力の向上とグローバル人材の育成	○中学生国際交流(派遣・受入れ)事業
	(2) 平和意識の高揚	○命を大切に教育 ○人権教育	○人権教育セミナーの開催
7 教育行政の推進	(1) よりよい地域・学校づくり	○学校地域における要望等の把握 ○公会計制度による学校給食費の管理○学校給食費の負担軽減	○各学校の評議員会議の活性化推進と意見聴取 ○学校給食費収納事務○第3子以降学校給食費免除制度○地元産食材購入費用の町負担
	(2) 教育事業の説明の推進	○積極的な教育委員会活動 ○教育委員会の活性化	○積極的な学校訪問及び意見交換会の開催○教育委員会会議の開催及び会議結果等の広報活動○教育委員会表彰の実施
	(3) SDGsに沿った行政運営	○積極的なSDGsの推進	○教育委員会の点検・評価

教育委員会の点検・評価

令和6年度 教育施策評価表

酒々井町教育委員会

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	こども課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	酒々井中学校グラウンド整備	
事業の概要	酒々井中学校のグラウンドは、部活動等で複数の競技が交錯しているため、安全性の確保及び競技力の向上を目的とする整備に取り組む。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	D 達成できなかった		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		1,210	0
	生徒が安全に運動や体育活動を行い、健康的な成長を促すためには十分な広さと良好な状態のグラウンドが不可欠であるが、事業を進めることができなかった。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 町内の学校施設は、建築後40年を経過する建物が多く老朽化が進んでいる中で、施設の維持管理とグラウンド拡張のための用地取得については優先順位をつけて取り組む必要がある。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	部活動でのグラウンド使用について、十分気をつけているとは思いますが、安全確認、安全指導を改めてお願いしたい。
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

所属名	こども課
-----	------

分野	1 学校教育
重点的な取組	(1) 教育環境の整備
主な事業	学校施設の維持管理
事業の概要	老朽化の進んだ学校施設の改修等を検討しながら、児童生徒の安全安心と良質な教育環境を維持するため、学校施設の維持管理を行う。

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		6,859	3,816
	学校施設は、こどもたちが安心して学び、成長できる環境を提供する基盤である事から、安全性と快適性を確保するため、定期的な修繕に努めた。（照明器具交換、トイレ修繕、ガラス修理等）		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



会議における意見交換等の内容	予算が十分に確保できない中で、優先順位をつけて整備していただいてありがたい。
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	スクールバス運行	
事業の概要	路線バスの廃止により通学が不便となった地区を対象に、子ども達を援助するため、墨地区には町所有のスクールバスを、伊籾・馬橋地区には町社会福祉協議会に委託したバスを運行する。いずれの利用料金も町が負担する。 なお、京成電鉄を利用する下岩橋地区の児童の利用料金も町が全額補助負担する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		14,369	17,190
	学校教育課でバスを所有し、シルバー人材センター派遣の運転手により事業を進めた。乗車定員を上回ることなく順調な運営ができた。 乗車定員を上回った場合には、ピストン運行をすることにより対応してきた。		
課題・問題点	シルバー人材センターの運転手の人員が少ないことから、学校教育課が分担している墨方面のバス運行に影響がないか不安である。 今後、新入生及び転入生の増加によっては、乗車定員を超えることも考えられる。スクールバスとタクシーの併用運行を研究していきたい。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	スクールバスの利用児童数の状況を教えてほしい。 だいたい、昨年と同様で横ばい。小規模開発等で子どもたちの利用が増えた時の検討は、常々している。
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	通学路安全点検の実施	
事業の概要	児童生徒の安全を確保するため、夏季休業中に、国土交通省や印旛土木事務所、佐倉警察署等の協力を得て通学路安全点検を実施する（平成24年度より継続実施）。今年度も、各学校より指摘のあった危険箇所について、現地での確認の後、町役場にて協議を行い、学校での指導事項及び早期の改善の方策等について検討する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		0	0
課題・問題点	通学路について危険・要注意箇所と思われる16箇所を選定し点検した。看板設置、道路ペイントなど、物理的な対策の他、見守り、交通安全指導も含めると、15箇所の安全対策が完了した。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(2) 確かな学力の向上	
主な事業	学習指導等専門支援員、学習活動支援員、介助員の配置	
事業の概要	学習指導等専門支援員7名、学習活動支援員2名、特別支援学級介助員7名、学校保健支援教員1名を小中学校に配置し、各校の教育活動を支援する。ICT授業支援教員を1名雇用し、各校に週に1度のペースで派遣し、各学校の教職員はもとより、ICT技術支援員との連携を密にし、各学校のICTを活用した授業のさらなる充実を図る。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		23,677	26,447
課題・問題点	特別支援学級の学習活動を個別に支援したり、通常学級で、学習につまずきのある児童生徒に個別の支援を行ったりする等、きめ細かな学習支援を行うことができた。 ICT授業支援教員の配置により、情報セキュリティーポリシーの周知や情報活用能力育成の指導体系を定めたり、1人1台端末利用の授業実践のサポートに力を発揮した。各学校のICT活用授業の目標を設定することができた。		
	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成	
主な事業	学校適応専門相談員の配置	
事業の概要	本町でも小・中学生の不登校生徒が見られる。中学校においては「ほほえみ教室」を設置し、クラスに入れない生徒への対応を行っているが、学校敷地内に足を踏み入れることさえできない生徒には活用できていない。そこで、町教育教委員会で「ふれあいルーム」を設置し、児童生徒の学習活動を保障する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		2,268	2,881
	学校適応専門相談員を2名配置し、小学生（2年生、6年生各1人）・中学生（1年生・3年生各1人）の通級を支援した。 また、週に1回中学校で行われる生徒指導会議に参加するとともに、小学校への訪問も始めたことで、各小中学校と情報共有を図ることができた。 ふれあいルームと学校の情報共有が進み、多くの手で児童生徒を見守ることができた。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成	
主な事業	学校司書の配置と読書活動の推進	
事業の概要	児童生徒の豊かな心の育成に、様々な人々の思いや考えを学び取れる「読書」は欠かすことができない。学校において、学校司書を配置し、学校図書館の充実を図ると共に、読書活動を推進することを通して、生涯、自ら学び続ける児童生徒の育成を図る。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		2,350	2,222
	図書の購入を含め、各学校図書館の運営については、担当教員が学校司書と連携して計画を立てるとともに、授業での図書の必要性及び児童生徒の実態（興味・関心を含む）に即した図書館整備を進めることができた。 また、プリミエール酒々井の司書も出席した学校司書会議を定期的で開催し、図書館教育について協議することができた。		
課題・問題点		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	コンピュータに頼らず、読み書き、自分で考える、調べ学習等の地道な活動が今後も更に充実して続いてほしい。
----------------	---

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進	
主な事業	ALT及び小学校英語専科教員の配置	
事業の概要	小・中学校における英語教育及び国際理解教育を推進するため、ALTを各小・中学校に一人ずつ配置し、ティームティーチングによる指導により、コミュニケーション能力の向上を図る授業を行う。また、小学校には英語専科教員を配置し、英語教育の指導の充実を図る。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		16,608	17,675
	平成29年度よりALTを各小中学校に1名を、さらに平成30年度より各小学校に英語専科教員を配置し、充実した英語学習が実現されている。小学校では、英語専科教員を中心とした研修を計画的に進めるとともに、担任が、授業終了後、直接、英語専科教員から授業に係るアドバイスを受けることも多く、それらの積み重ねによる指導力の向上がうかがえた。		
課題・問題点		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容
----------------	-------------------------

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
分野	1 学校教育
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な事業	保小中連携推進事業の実施（あいさつ運動等の推進）
事業の概要	小・中学校において挨拶、掃除、時間、聞く、話す、の5点を重点項目とし、9年間の学校生活において子どもたちに意識させて活動させるようにする。また、教科学習において、9年間を見通した学習活動が実施できるよう推進協議会を設置するとともに、「全体会」や「分科会」を開催し事業を進める。

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		300	270
	昨年度に引き続き小中連携あいさつ運動を実施することができた。また、保小中連携推進協議会及び全体会、3回の分科会は全て開催することができた。 保育園、こども園と小学校の交流も順調に実施された。 あいさつ運動の実施により、元気なあいさつが交わされる場面が増えた。		
課題・問題点			

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input checked="" type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	この活動を更に充実させるため、それぞれの学年で何がどこまでできるかを具体的に示せるといいと思う。
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進	
主な事業	人権、同和教育事業の実施	
事業の概要	小・中学校3校では、教育活動の基盤として「人権・同和教育」を推進し心豊かな児童生徒の育成を進めている。また、「人権教育」「同和教育」は児童生徒の心の育成を図るにはとても重要であり、特に授業に係る研究が必要不可欠な領域である。そこで、3校が輪番で公開研究会を開催し、研究協議をとおして研究を深め、授業力の向上を図る。 （令和6年度は大室台小学校で実施）	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		637	704
	児童生徒の実態を分析しながら各学校で人権・同和教育の実践を集積し、11月22日には大室台小学校で公開授業研究会を実施した。ICTの活用と道徳科と関連させた研究により、話し合い活動が充実したと考える。 また、人権作文集及び人権・同和教育推進資料（第36集）を作成・発行した。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） こどもの自己肯定感にも繋がることから、継続していくことが大事。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにはほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進	
主な事業	酒々井学（ふるさと学習）の推進	
事業の概要	酒々井町の歴史や文化、自然等について知ることで、郷土に対するふるさと意識を育み、自分たちの町をよりよくしようとする意識を涵養するために、酒々井学を推進する職員1名を学校教育課に配置する。酒々井町の地域人材や素材を活用して作成した学習プログラムに基づき、将来も町づくりのために活躍する人材の育成を図る。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		731	2,968
課題・問題点	町制施行135周年記念事業で、「酒々井学学習内容発表」を行った。小・中学校の各学年代表者9名が、酒々井学で学んだことをガイドのように説明する発表方法で参観者から高い評価をいただいた。町情報発信館「まるごとすい」に小学校5学年「酒々井のまちじまん」と小学校6学年「酒々井のまちづくり」での児童の作品を展示し、町外からの来町者に向けて情報発信を行った。また、副読本「わたしたちの酒々井町」を作成し、酒々井町について学ぶために活用することができた。		
	町教育事業の戦略的広報におけるメディアの活用については、情報セキュリティポリシーの策定により、保護者の承諾を得ることになっていることから、学校側の積極的な協力体制が求められる。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進	
主な事業	豊かな心を育むCTSプランへの助成	
事業の概要	町教育委員会では、各学校の特色ある教育活動を推進している。そのため、各学校の校長裁量で活用できる予算を確保し、更なる推進を図る。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		700	630
	それぞれに事業計画書にしたがって、事業展開した。各小中学校に補助金（小学校180千円、中学校270千円）を交付し、各学校の実情に応じた特色ある教育活動を推進することができた。		
	蛍の里や米作りなどの地域人材を活用した教育活動、英語検定や漢字検定の受検を推奨する等の取組を推進することができた。		
課題・問題点	町財政の状況が厳しい中、予算の確保が難しくなっている。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	
主な事業	大会参加経費の助成	
事業の概要	中学校の部活動には、地区大会、県大会等があり、生徒はその大会を目標に毎日の活動を精力的に行っている。しかしながら、各大会参加には移動が必要であり、毎回、保護者に依頼することも困難であり、有料バス等の手段を用いる必要がある。その予算の確保が不可欠であり、助成の充実を図る。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		1,737	1,000
	中学校から補助金申請に基づき補助金を支出した。 バス等の費用が上がっており、コロナ禍以前のように競技会が開催されていることから、本事業の必要度は高い。		
課題・問題点		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容
----------------	-------------------------

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	
主な事業	部活動の地域移行（試行）	
事業の概要	今後、生徒数の減少やそれに伴う教職員の減少により、学校部活動は現状のまま維持することが難しい状況であり、学校職員の働き方改革の観点からも、学校部活動の地域への展開を進めていく。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		0	28
	酒々井町部活動地域移行推進協議会による年2回の協議会開催、学校部活動・地域展開体制の運営計画の点検・見直しの実施、学校部活動の今後の見通しの保護者への通知、町体育協会の各競技団体への説明会等を実施し、部活動地域移行に向けた活動を実施できた。		
課題・問題点	指導にあたる人員の確保やどの程度の指導を行い、どの程度の責任を持つべきか等、クリアしていく課題がいくつか存在している。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	酒々井町部活動地域移行推進協議会の現状を教えてほしい。 町体育協会協力のもと、活動場所の確保、指導者の確保について検討している。100年続いてきた部活動を地域移行するには困難が多いが、地域の協力をいただきながら進めたい。
----------------	---

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	6 国際交流・国際理解	
重点的な取組	(1) 国際人の育成推進	
主な事業	中学生国際交流（派遣・受入れ）事業	
事業の概要	酒々井町の未来を担う子供達に世界を見据えた広い視野を育成すべく、酒々井中学校の生徒をドイツへ派遣したり、ドイツの生徒を隔年で受入れたりする中で、子供達の英語力向上や国際理解教育を推進する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		1	5,858
	5月にドイツ・ギムナジウム・ドルフェン校の生徒20名を受け入れ酒々井中学校の生徒と交流することができた。9月には11名の酒々井中の生徒がドイツへ派遣され、充実した学習を行うことができた。		
課題・問題点			

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	生涯学習課
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な事業	人権教育セミナーの開催	
事業の概要	町民等を対象に年間6回のセミナーを実施します。 人権問題をテーマとし、日常生活の中における様々な人権に関する問題に気づき、それらを家庭、職場、学校あるいは地域社会で語り合うことができるための学習会を開催する。令和6年度も少数の方の人権について考え、またオンラインを活用した実施に努めます。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		466	378
課題・問題点	令和6年度は6回のセミナーを開催し、353人の参加がありました。障がい者の人権やデジタルエチケットなどについて学び、人権意識の向上に努めました。 また、昨年度に引き続きzoomを利用したりリモート講演も取り入れました。		
	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	生涯学習課
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な事業	こども青樹堂（3・4年生及び5・6年生）の開催	
事業の概要	令和5年度同様に事業を継続していきます。 令和6年度参加児童は、3・4年生が19名、5・6年生が16名 になり、参加児童数は前年度比で増加しました。 子どもと大人の対話を大事にした支援をします。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		1,561	1,519
課題・問題点	小学校3・4年生19名及び5・6年生16名が参加して、6月から年間1.5回の学習会を実施することができ、国語（漢字の読み書き・意味等）、算数（加減乗除）などの基礎基本習熟のための学習支援を行うことができました。 学習に入る前に、クイズ、折り紙、読み聞かせ等の活動を行い、学習意欲の向上に努めました。		
	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	生涯学習課
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備	
主な事業	地域未来塾の開催（中学生）	
事業の概要	中学生を対象に、元教員などの地域住民の協力を得て、生徒の学習習慣の確立と基礎学力の定着を目的に、学習支援を実施する。教科は英語と数学。主な実施場所を中央公民館に変更して、参加率の改善を図る。実施日は原則として日曜日だが、下校時刻が遅い時期の定期テスト前は平日実施日もある。年間32回実施。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		569	396
実績・成果	令和5年度から主な実施会場を酒々井中学校の空き教室から中央公民館に変更したところ、年間の参加率が上昇しています。 また、令和6年度は通常の事業に加え、人権教育セミナーと共催で情報モラルの特別授業を実施し、全29回の活動となりました。 年間参加率 R4 26% R5 41% R6 46%		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	中学生の学習習慣定着のための支援ということで、年々参加率が上がっている。いろんな条件整備をして成果を上げている。更にがんばってもらいたい。
----------------	---

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	生涯学習課
分野	3 生涯体育・スポーツ	
重点的な取組	(1) 生涯体育・スポーツに参加できる環境の整備	
主な事業	学校体育施設の開放	
事業の概要	学校開放体育施設を、競技種目・使用団体・利用施設を考慮し、効率的な貸し出しを行う。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		0	0
課題・問題点	学校、関係部署、関係団体、利用団体等と調整し、できるだけ多く利用できるように、学校開放体育施設の効率的な貸し出しに努めた。 利用団体数：54団体 946名 また、学校開放体育施設の屋内施設及び酒々井中学校テニスコート有料化を開始した。 R6年度使用料 実績395,750円 (※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容
----------------	-------------------------

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	生涯学習課
分野	4 青少年の育成	
重点的な取組	(2) 地域の教育力の向上	
主な事業	地域学校協働本部の運営	
事業の概要	学校と地域が連携・協働して地域全体で子どもたちの学びや成長を支える基盤の構築を図るため、各学校にコーディネーターを置き、活動の推進に努めます。 活動の周知や広くボランティアを募集するため、町のLINEやTwitterを活用します。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		1,274	1,277
	酒々井小学校においては、貸出図書の修復などを行う図書館ボランティア、下校付き添い、ミシンボランティア、総合学習の補助などを実施し、のべ225人のボランティア等の協力がありました。 大室台小学校においては、下校付き添い、ビオトープ整備、町探検の付き添い等の活動に255人のボランティアがありました。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	学校と地域の連携というのが、定着するまでは時間がかかると思う。地道に継続してがんばってほしい。
----------------	---

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	生涯学習課
分野	5 歴史・文化	
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承	
主な事業	本佐倉城跡の保存整備	
事業の概要	①指定地内樹木伐採・剪定（城山郭等） ②城跡見学会の開催（佐倉市との共催事業） ③本佐倉城跡案内所の運営	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		9,819	9,226
課題・問題点	①セッテイ山郭南側民家脇2本の危険木の伐採を1月に実施し、終了しました。 ②3/1に佐倉市、ボランティアガイドとの共催で城跡の見学会を実施し、72名の参加者がありました。 ③国史跡本佐倉城跡案内所の運営を継続して行い、令和6年度には来場者として11,161名が訪れました。また案内所での企画展やクイズラリーの実施、配布用パンフレット等の増刷を行いました。 城跡の今後の整備事業工程、指定地拡大の詳細については、町実施計画及び予算面と調整しながら、国・県と協議して検討を引き続き行っていく必要があります。またさらなる来場者の増加に向けて、新たな取組の実施・周知・工夫を図っていく必要があります。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	生涯学習課
分野	5 歴史・文化	
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承	
主な事業	墨古沢遺跡の保存整備	
事業の概要	①整備活用委員会の継続開催 ②整備活用に向けた史跡隣接地の用地公有地化 ③国史跡指定5周年記念講演会・ワークショップの開催（各1回）	

3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		74,575	27,244
課題・問題点	①遺跡の整備・活用の方法を的確に検討するため、有識者・史跡関係者で組織する史跡墨古沢遺跡整備活用委員会を継続して開催を行い、R6年度は2回(10/22、3/26)の会議を実施しました。 ②史跡の活用を推進するため史跡東側に隣接する民有地(3,283.01㎡)の公有地化をR5年度から継続して進め(民家移転があったため)、12月に完了しました。しかし予定していた酒々井PA用地(2,870.20㎡)については、ネクスコ東日本との協議の結果、R7年度に先送りすることになりました。 ③史跡の整備・活用を考えていくため、10/26に千葉工業大学と連携したテント状住居構築体験のワークショップを昨年度から引き続き実施したほか、12/7には国史跡指定5周年記念講演会を実施し、一般175名の参加がありました。 町では今後さらなる財政状況が厳しくなる見通しから、事業を令和7年度から限定・順次縮小し、令和8年度より町の財政状況が好転するまでの間、事業を休止することとなりました。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input checked="" type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
-----------------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	中央公民館
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な事業	町民大学青樹堂及び町民大学院青樹堂の開催及び一般講座等の開催	
事業の概要	2年制の町民大学青樹堂において、公開講座を含めながら、視察研修を多く取り入れた幅広い分野の学習を行います。 町民大学青樹堂10期生の卒業生からなる町民大学院青樹堂1期生では、受講生の自学自習を軸とした主体的な学びの場を実施します。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		6,041	6,833
課題・問題点	町民大学青樹堂を開催し、1.1期生6名が卒業、1.2期生1.1名が進級しました。 また、町民大学青樹堂で学んだ知識・技能の更なるレベルアップを図り、個々の専門的な知識に磨きをかけ、社会参画を目指すことを目的に町民大学院青樹堂を開催しました。（1期生17名） 合同講座を開催したり、公開講座を取り入れたことで、受講生同士のコミュニケーションと学習成果向上につなげることができました。 (※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	中央公民館
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(4) 学習関連施設の整備	
主な事業	中央公民館の管理運営	
事業の概要	災害時に対応できる施設として、施設の維持管理を継続します。 新型コロナウイルス感染症防止対策を継続し、安心して利用できるよう 対応を継続します。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		17,265	17,128
課題・問題点	災害時に対応可能な施設として、維持管理を継続しています。 新型コロナウイルス感染症防止対策について、引き続き安心安全に 利用できるよう環境を整えながら貸館業務を実施できました。 避難所開設訓練を実施し、避難所運営について動作確認を実施しました。		
	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における 意見交換等の内容	
--------------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	給食センターの今後のあり方に関する検討	
事業の概要	町の学校給食事務を富里市に委託することについて、議会で可決された。富里市議会でも同様の議案が可決された。今後は、事務委託の開始に向けて富里市との詳細な協議を行うとともに、町学校給食センターに関する条例・規則などの改廃事務や、給食センター職員の配置（県費負担栄養教諭含む）について、庁内及び千葉県との調整を図る。また、センターの終了に向けて事業者（食材・光熱水等）への周知徹底を図る。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		0	0
課題・問題点	令和7年9月1日からの学校給食事務の委託に向けて、富里市と詳細協議を実施した。詳細協議の内容は、事務委託後に使用する食器・食缶の購入、富里市センターの設備増設、酒々井産野菜等の活用、給食費の設定、県費負担栄養士の配置、関係費用の負担割合、学校給食センター運営委員会、食育授業など多岐に渡るものとなったが、概ね順調に進捗した。 また、規則などの改廃準備やセンター終了に係る保護者・事業者等への周知についても準備を進めることができた。 （※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	富里市への委託について、いろいろ難しい問題があったと思うが、今後も安全・安心、おいしい給食の提供をお願いしたい。
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	
主な事業	食育指導	
事業の概要	児童生徒に向けた「センター通信」の作成・配付、保護者に向けた「センターからこんにちは」を引く続き作成し、食生活に関する正しい知識の普及に努め、成長期を迎える児童生徒の健全な成長につなげる。また、学校における食育授業や給食時間中の給食指導については、円滑な実施に向けて学校と連携していく。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		0	0
課題・問題点	「センター通信」は、月に4回程度のペースで発行した。伝統行事や季節ごとの旬の食材などを題材に、児童生徒が自然と興味を持って知識を身につけられるよう工夫して作成することができた。また、「センターからこんにちは」は、人気メニューのレシピ等について、家庭でも調理できるよう町広報に掲載した。 給食時間における食育指導は、県負担栄養教諭所属の酒々井小を中心に、給食担当教諭や担任教諭による指導を実施した。 （※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容
----------------	-------------------------

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	
主な事業	地元産食材の使用	
事業の概要	町で生産される米や野菜、加工品の購入に係る費用を全額町が負担し、地産地消の推進を図るとともに、その目的や意義を食育を通じて児童生徒に伝えていく。町内の農家・事業者にも教育面での効果を伝えることにより相乗効果が生まれるよう努める。また、物価高騰の影響が子育て世帯への負担増につながらないように、食材費の適正な管理に努めるとともに、必要に応じて迅速な財政措置を行うことができるように町内調整を行う。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		6,270	6,791
課題・問題点	給食に使用する米は、100%地元産コシヒカリを使用した。また、契約農家の協力により、生鮮野菜としては、さつまいも・じゃがいも・キャベツ・大根・長ねぎ・にんじんを使用することができた。手作り味噌も月に2回程度使用できた。地元産食材は献立に表記し、地産地消の意義や生産者とのつながりを児童生徒が考えるきっかけになったものと考えている。 また、物価高騰に伴う賄材料費の上昇に対応して、予算の増額補正を行い給食費の値上げを行わず子育て世帯の負担軽減を図った。		
課題・問題点		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	物価高騰の影響から、米飯給食が減ったという事はあったのか。 それは、ありません。

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	学校給食センター
分野	7 教育行政の推進	
重点的な取組	(1) よりよい地域・学校づくり	
主な事業	学校給食費収納事務	
事業の概要	学校給食費の収納事務を適切に行う。また、現年分・過年度分未納給食費については、規則等に基づき、計画的なスケジュールのもと厳正に収納事務を行う。なお、督促に応じない悪質な滞納者に対しては、繰り返し督促を行い、必要に応じて裁判所の支払督促を活用する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		63,234	48,748
課題・問題点	学校給食費の無償化により、教職員の事務の負担軽減、保護者の利便性向上及び振込手数料の無料化による負担軽減が図られた。 本年度の決算見込み額は、昨年度と比較して減少しているが、これは4・5月分を小中学生全員減額したことによるものである。その財源措置として国庫交付金を充当しているため、町負担は発生していない。		
	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な事業	図書館講演会やおはなし会等の開催	
事業の概要	子ども読書活動の推進を図るため、各種事業を開催する。 図書館講演会・読書通帳サービス・おはなし会・赤ちゃん向けおはなし会 多読賞表彰式・子ども教室（子ども落語教室）・子ども映画会	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		121	97
課題・問題点	・図書館講演会（9/21開催・172名） ・読書通帳（発行数111冊/年・延べ1,977冊） ・おはなし会（25回開催・延べ248名）※手話で楽しむおはなし会含む ・赤ちゃん向けおはなし会（12回開催・延べ102名） ・多読賞表彰式（5/12開催・表彰者10名） ・子ども落語教室（8/4開催・19名） ・子ども映画会（8/17・8/24・12/22開催・延べ121名） （※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容
-----------------------	-------------------------

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

	所属名	プレミアム酒々井
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(4) 学習関連施設の整備	
主な事業	プレミアム酒々井の管理運営	
事業の概要	経年による修繕やメンテナンス、機器の更新等が多く生じているため、利用者に支障が出ないよう施設の適正な管理運営に努める。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		25,937	70,270
	施設を快適かつ安全に利用できるよう、維持・管理運営・修繕等を行いました。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設維持管理費（23,432千円） 光熱水費、各種修繕、清掃業務、空調設備保守点検等 ・工事請負費（46,838千円） 吸収式空調熱源設備更新工事 		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 全体的に老朽化が激しいことから、修繕や更新を必要とする機器等が多く発生しております。町財政の状況が厳しい状況ではありますが、限られた中で安全安心な施設の維持管理に努めて参ります。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
---------------	---	--



会議における意見交換等の内容	
-----------------------	--

教育施策評価表（令和7年8月実施）

令和6年度 教育施策評価表

		所属名	プリミエール酒々井
分野	5 歴史・文化		
重点的な取組	(2) 文化芸術活動の振興		
主な事業	音楽会の開催		
事業の概要	1. オータムコンサート 音楽を通じて、小・中・高の学生や一般視聴者との交流を図り、親交を深めるとともに演奏技術の向上を目指す。 2. しすいリッチハートコンサート プロの演奏家を招き、様々なジャンルの芸術にふれる機会を提供する。 3. しすい音色の輪コンサート 酒々井町にゆかりのある演奏家によるコンサートを開催する。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和5年度決算額	令和6年度決算見込額
		337	463
	1. 第24回オータムコンサート 内容：町内小・中・高校の児童・生徒による音楽演奏会 (11/30開催・参加児童・生徒134名・観覧者196名)		
	2. しすいリッチハートコンサート 第5回 内容：クラシック演奏会（7/5開催・鑑賞者246名） 第6回 内容：ミュージカル（12/15開催・鑑賞者304名）		
	3. しすい音色の輪コンサート（新規） 内容：町にゆかりのある音楽家を発掘するコンサート (2/15・16開催・鑑賞者194名)		
課題・問題点	4. プリミでピアノ（新規） 内容：文化ホールでのピアノ演奏体験 (8/15・8/16・8/17開催・参加者39名)		
	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--